

第40回分子病理学研究会

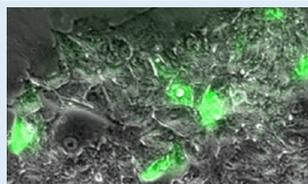
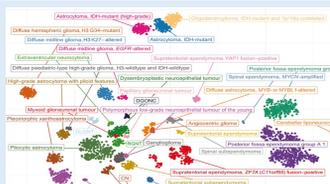
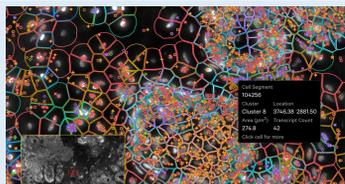
クラークシンポジウム



会 期：2023年7月14日（金）、15日（土）

会 場：北海道大学医学部 フラテホール

会 長：田中伸哉 北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学教室

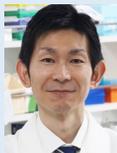


この度、第40回分子病理学研究会をクラークシンポジウムと銘打って北海道大学で開催します。近年、シングルセル技術が進歩してきており、特に空間トランスクリプトーム解析など、病理学ばかりではなく、医学・生物学研究全般において重要な技術として発展してきています。そこで、1日目は「ゲノム・分子を究める」として主にこの分野のフロントランナーの先生方に講演をお願いしました。また、分子病理学研究会は幅広くサイエンスを議論するという伝統もありますので、2日目は「Biologyを深める」として、がん、炎症、再生、免疫など幅広い分野からご講演いただきます。北海道開催ということで、ヒグマ研究の第一人者の先生にもご登壇いただきます。大学院生・学生の皆さんは参加無料です。是非皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。夏の北大でお会いしましょう！



7/14（金）ゲノム・分子を究める

講演 1 13:00-13:50 座長：石丸 直澄先生



ゲノム研究で新しいがん治療法を創る
高阪 真路 先生
国立がん研究センター研究所 分野長



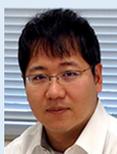
7/15（土）Biologyを深める

講演 1 9:00-9:50 座長：菱川 善隆先生



炎症とがん・組織再生
谷口 浩二 先生
北海道大学 大学院医学研究院 教授

講演 2 13:50-14:40 座長：横崎 宏先生



ゲノミクスから見た正常及び疾患
胃粘膜の制御機構
石川 俊平 先生
東京大学 大学院医学系研究科 教授

講演 2 9:50-10:40 座長：清川 悦子先生



細胞機能の新たな制御軸—基質電荷の
影響の解明と癌・組織再生研究への展開
今城 正道 先生
北海道大学 化学反応創成研究拠点 特任准教授

講演 3 15:00-15:50 座長：水上 裕輔先生



空間トランスクリプトーム解析の進展
～がん組織内多様性の解析
鈴木 穰 先生
東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授

講演 3 10:50-11:40 座長：徳田 信子先生



免疫を知り、免疫を創る-血液細胞の進化
的起源の探索と再生T細胞を用いた細胞療法の開発-
河本 宏 先生
京都大学 医生物学研究所 所長

講演 4 15:50-16:40 座長：加藤 光保先生



計算構造生物物理学に基づく生命機能
メカニズム解析
重田 育照 先生
筑波大学 計算科学研究センター 教授

講演 4 11:40-12:30 座長：田中 伸哉先生



クマ類の不思議な生態と生理
～特に冬眠と繁殖の関係について～
坪田 敏男 先生
北海道大学 大学院獣医学研究院 教授

ポスター発表
情報交換会 16:50-17:50
18:00-（希望者、別途有料）

参加費・一般 1,000円
・学部学生/大学院生 無料
*オンライン・オンデマンド配信はありません。

参加登録：7月7日 締切
ポスター演題募集中：5月27日 締切

主催：分子病理学研究会
共催：北海道大学化学反応創成研究拠点
(WPI-ICReDD)

事務局：北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室内
〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目 Tel: 011-706-7806 FAX: 011-706-5902

<https://40molpathmeeting.wixsite.com/website>

Dr. William S. Clark

